

町長室から

前

浦幌診療所長の菅原陽一先生が3月28日の診療をもつて退任されました。

菅原先生には、平成21年4月に浦幌診療所所長に就任して3年間勤めていただき、榊原所長就任後は水曜日勤務を6年間、併せて9年間に渡り町民の健康管理に献身的に係わっていただきました。

所長就任時は、それまでの診療所所長が後任の医師が確保できていない状況の中で、急に契約を1年早めて退職することになり、浦幌町立診療所は医者不在の危機に直面しており、札幌医大をはじめ、北海道地域医療振興財団や北海道庁保健福祉部保健医療局地域医師確保推進室などを巡り、お医者さん探しに奔走していた苦しいときに、菅原先生に巡り会うという僥倖に恵まれました。

菅原先生は当時男鹿市で勤務されておられました。が、もともと釧路出身であり、十勝での勤務を考えているとの情報を得て札幌で会う約束を取り付け、何

とか浦幌診療所長就任を懇願して、「ご承諾をいただいた時のことを思い出します。」

診療所を退職されてもご自宅が浦幌町にありますので、お目にかかれるものと思います。どうかこれからもご健勝で、お過ごしください。事を祈念して退任式で榊原所長や診療所スタッフ、関係職員とともに感謝申し上げます。

STVラジオの「ウィークエンドバラエティ日高晤郎ショー」として毎週土曜日に35年間にわたり放送されていた番組のパーソナリティーとして活躍されていた日高晤郎さんがお亡くなりになりました。

常に好き嫌いを明確にして、筋を通すと言う話は非常な人気を保っており、私も度々スタジオにお邪魔をして「ふるさとのみり祭り」など浦幌町の宣伝をさせていただいてまいりましたが、公開放送が行われるスタジオ内の30席ほどのひな壇と呼ばれる席には毎週必ず来るという見学者が朝早くから来場してお

り、皆さんと同じように日高さんと正面に向き合う形で座り、番組の中で何度も突然振られるやり取りに即座に答えなければならぬため緊張しながら番組に参加させていただいてまいりましたが、台本がない9時間の番組を1人で進行する姿に感動を覚えたものです。

常に温かく迎えていただいたことに感謝申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。

新年度が始まり、小学校、中学校そして幼稚園・保育園のそれぞれの入学式・入園式が行われ、ピカピカの1年生が緊張した様子で登校してきましたが、すぐに弾けるような笑い声になりました。

お母さんの手から離れない幼稚園、保育園の子供たちも1年たつと本当に成長します。

子供たちの成長する姿を見ると、人間が同じ速さで成長できるのであれば素晴らしいことなのに、どこで成長が止まってしまうのだろうと考えています。いつまでも学び続け、生

きがいを持ち続けるために、今年も多くの方が精勤賞、皆勤賞を目指して行動を開始した各地域の寿大学の開校式で目を輝かせている皆さんを見ていると、気持ちの持ち方一つでいつまでも成長出来ることを知り、勉強させられました。

春になると車のスピードが増す季節ですが、交通ルール厳守で事故を未然に防ぐことが出来ます。

また、今年は早くも厚内地区で野火が発生しましたが、これから山菜採りに山に入る人達が増えますが、くれぐれも火の取り扱いには注意をしてもらいたいものです。

今年も11名の皆さんが浦幌町職員に加わりました。

早く職場になれて町民の皆さんのお役に立てるよう一生懸命に頑張りますので、よろしくお願いたします。

浦幌町長 水澤一廣